

鈴懸

【Suzukake】

発行日 2023年12月21日 (木)

八王子学園八王子中学校・高校学校 広報誌
〒193-0931 東京都八王子市台町4-35-1
TEL. 042-623-3461(代) FAX.042-626-5646

URL. <https://www.hachioji.ed.jp>
E-mail. info@hachioji.ed.jp



● 公式Instagram

行事や学校生活など
八王子学園に関する
様々な情報を発信しています。

中・高クラブ活動の記録

中学陸上競技部

● 第76回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会

1・2年男子走幅跳 2年2組 瀧本 泰誠 3位

● 第75回八王子中学校駅伝競走大会

男子3位

女子優勝

1区 3年3組 宮野 凜央	1区 3年3組 渡瀬 野々花 (区間賞)
2区 3年3組 勝見 圭太	2区 3年3組 深澤 優空
3区 2年2組 坂場 健人	3区 1年2組 加藤 詩菜 (区間賞)
4区 3年1組 若林 隆成	4区 2年2組 大野 颯夏 (区間賞)
5区 3年2組 幡 美佐樹	5区 1年3組 重原 優咲
6区 3年3組 坂本 玲生	

● 第38回 (女子) 東京都中学校駅伝競走大会

女子7位

1区 3年3組 渡瀬 野々花
2区 3年3組 深澤 優空
3区 1年2組 加藤 詩菜
4区 2年2組 大野 颯夏
5区 1年3組 重原 優咲



高校吹奏楽部

● 第25回全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜

連盟会長賞 横浜市会議長賞 (第2位)



高校写真部

● 第51回東京私立中学高等学校生徒

写真・美術展 写真の部

1年3組 荊 子軒

作品「飛翔!」⇒「特選」受賞



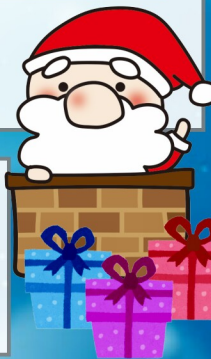
高校バドミントン部

● 令和5年度 東京都高等学校新人バドミントン大会 (団体の部)

3回戦進出 (男子)

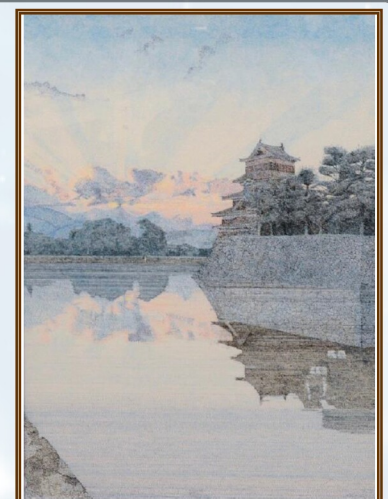
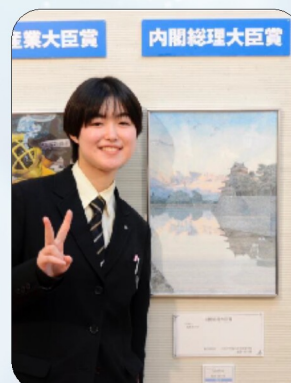
● 令和5年度 東京都高等学校新人バドミントン大会 (男子シングルの部)

高校2年2組 中澤遼行 第2トーナメント2位 (5回戦進出)



第35回全日本デザイン・イラスト展 内閣総理大臣賞受賞

高校総合コース美術系3年11組 紙原 奈々果さんの作品が、第35回全日本デザイン・イラスト展にて、最優秀賞の内閣総理大臣賞に選ばれました。夏休みに家族で訪れた長野県の松本城の美しさに心惹かれ、描いたそうです。紙原さんの他にも本校生徒の多数の作品が入賞し、団体賞として文部科学大臣賞を受賞しました。





中・高クラブ活動の記録



高校陸上競技部

●第27回関東高等学校選抜新人陸上競技大会

男子100m 3位 10秒70 紙田健吾
男子4×100mR 6位 41秒76 齋藤道・紙田健吾・石川柊太・シャザート 恵千
女子100m 7位 12秒44 石川彩花
女子4×100mR 5位 48秒13 太田原葵・石川彩花・村松碧・松本朱莉
女子走幅跳 5位 5m46 篠山那弥子



高校硬式テニス部

●令和5年度 東京都高等学校新人テニス大会 (団体の部)

3回戦出場 (男女)

●第48回 東京都私立中学高等学校テニス選手権大会 (団体の部)

4回戦出場 (男)

高校男子バスケットボール部

●2023 (令和5) 年度 東京都高等学校

男子バスケットボール全国高等学校選手権大会
東京都代表決定戦

決勝リーグ3戦全勝 優勝

78-68VS成立学園

137-49VS東海大菅生

115-63VS國學院久我山



高校女子バレーボール部

●令和5年度新人II部大会

Cブロック3位

●令和5年度市民スポーツ大会

優勝



高校書道部

●第69回 学生書道展

書道連盟会長賞 (高校部門最高賞)

教育長賞 2年11組 川村陽莉

●第60回 全国競書大会

毎日新聞社賞 2年12組 奥田陽香

毎日新聞社賞 1年4組 井上慧子

金剛峯寺賞 1年1組 秋元柚乃



中・後期教育実習

2学期に中期・後期の教育実習生の受け入れを行いました。3週間という短い期間でしたが、授業だけでなくHRや休み時間を通して実習生と仲を深めた人もいないのでしょうか。実習生を代表して、社会科の福田樹先生と音楽科の今田俊輔先生の感想文を紹介します。

日本大学文理学部史学科4年 <福田樹>

3週間の教育実習が終わりました。長かったようであっという間の3週間でした。初めは生徒と上手にコミュニケーションが取れるのか、授業で要点を捉え円滑に進めることができるのか、など不安要素が沢山あり、3週間試行錯誤を続けていました。

実習中に指導教諭である富田先生と何度も話し合いや打ち合わせを行い、自分の足りない部分や、どのように工夫するのかなど沢山考えさせられました。ですが富田先生からの言葉や授業見学で得た事をヒントに、自分なりの答えを出す大切さを学ぶ事ができました。また生徒と関わる楽しさ、伝えたい事をうまく伝える難しさも感じる事ができました。その中でも1番やり甲斐に感じたのが生徒達の成長を見続ける事ができる点でした。たった3週間ではありましたが、担任として持たせていただいた高校1年1組のみんなが3年生になって卒業する時に、どれだけ大きくなっているかを考えているだけでとても楽しい気持ちになり、教員をやる上で大きなやり甲斐なのだろうと思いました。こういった成長を間近で見たり感じたり出来るのが先生という職業の特権なのだと身をもって感じる事ができました。

この3週間終わってみると、あっという間だったと感じているのは充実していたからだと思います。受け入れてくれた1年1組のみんな、その他の生徒達、校長先生、指導教諭の富田先生をはじめとする先生方に助けられながらやり切ることができました。先生方にはお忙しい中お時間を割いていただき、丁寧なご指導に心から感謝しています。この経験を糧にこれからの学生生活、今後の活動に活かしていく所存です。八王子学園八王子高等学校には沢山の恩があるので、今後の私の活動で恩返しができたらと考えています。3週間ありがとうございました。

東京藝術大学音楽学部器楽科トランペット専攻 <今田俊輔>

思い返せば、今までの私の人生において、重要な決断をするときには必ず学校の先生と一緒に考えてアドバイスをくださっていました。そんな私にとって教育実習というのは、学んできたことを発揮できるのが楽しみな一方、大変な緊張感と責任を感じる3週間でした。

八王子学園は学年やコースが多いこともあり、教職課程において学んだことを存分に発揮できる環境が整っています。学年による指導の方法や、音楽コースでは個人ごとの理解度の差による授業の進め方の違いを観察し、実践することができました。

学級ではホームルームを担当させていただき、学級運営の大切さを実感しました。進路指導や修学旅行の引率等、生徒の人生に関わる責任の重さを痛感したとともに、学級単位での成長も見ることができた素晴らしい職業だと感じることができました。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



中期	大庭 里紗(美術)	多摩美術大学 美術学部 工芸学科
後期	佐廣 美有(中学歴史)	清泉女子大学 文学部 文化史学科
	福田 樹(日本史探究)	日本大学 文理学部 史学科
	上柳 創大(音楽)	洗足学園音楽大学 音楽学部 音楽学科 管楽器コース
	今田 俊輔(音楽)	東京藝術大学 音楽学部 器楽科 管打楽器専攻
	入江 楓大(美術)	東京藝術大学 美術学部 デザイン科
	鈴木 悠馬(体育)	城西国際大学 経営情報学部 総合経営学科

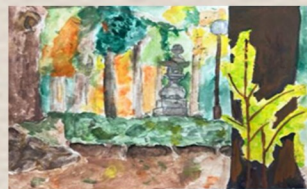
中学1年 野外スケッチ大会 11月1日(水) 富士森公園



中学1年生恒例のスケッチ大会が今年も開催されました。寒さが予想されていましたが当日は日差しも温かく、気持ちの良い一日となりました。日常の学校生活から離れ、多くの生徒たちが自然の中で自分と向き合って絵に取り組むことができました。まだ新しい画材を広げながら思い思いに絵を描く生徒達は、授業とはまた違った新鮮な表情を見せてくれました。受賞作品は中学MM前に展示される予定ですので是非立ち止まってご覧いただければと思います。中学1学年主任 橋本順子

【金賞作品寸評】

芸術科美術
中野浩明



1組 城所 聖美
森の深い空間表現が見事。明暗の対比も巧妙。中学生レベルを超えた作品。



1組 村上 陽南
多彩な陰影の色彩に魅了。現地であらえた光と影の描写が見事。



1組 桑原 温子
階段にこれほどまでの魅力を与えるとは・・・発想と視点が抜群。中学生レベル超の作品。



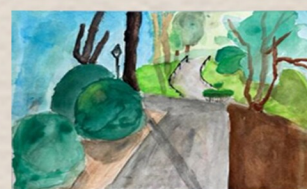
2組 瀧見 裕理子
優しい色彩と光が魅力。観察に基づく木々の造形も見事に表現。



2組 笹川 ゆり
シンプルで力強い構成、インパクト抜群。微妙に変化するインターロッキングの表情も秀逸。



3組 西出 英美里
葉々の点描表現が絶妙。揺らぎの描写がさわやかな風も演出。



3組 鈴木 春香
遠くまで続く道、その先には光の世界。画の中に引き込まれる舞台装置的な魅力満載。

中学2年

キャリアガイダンス

11月2日(水) 於・中学マルチメディア教室

11月2日3・4時間目、中学2年生は将来について考えるキャリアガイダンスを行いました。3時間目は進路指導部のヒューズ先生の指導で、「仕事」についてのグループワークを行い、教員、もの作りなどの職業に必要な能力、態度をグループごとに考えて意見を出し合いました。4時間目は八王子学園を卒業して現在は都市開発の仕事に従事している卒業生をお招きして、仕事、大学、趣味、家庭、高校生活等々多様な面から人生についての話をしていただきました。実際にこの学園を出た先輩からの様々な話に対して、生徒からも「勉強へのモチベーションの保ち方は？」等の質問があがるなど、興味深く話を聞くことのできた生徒が多かったように思います。

中学2学年も2学期までが終了し、基本的な生活習慣、学習習慣を身につけるSTAGE1も残りわずかです。

3年生からは目標に向けた応用力を身につけるSTAGE2へと進級していきます。ここからは生徒一人一人が自分の意志で将来の目標を決定していくことになりますが、今回のガイダンスがそのための一助になれば幸いです。

中学2学年主任 谷口明博



中学3年 ブリティッシュヒルズ



10月5日(木)～7日(土)の3日間、福島研修旅行が行われました。鶴ヶ城、会津藩校日新館、武家屋敷、大内宿などを回りながら、会津若松地方の歴史や文化を学びました。また、「パスポートのいらない英国」のキャッチフレーズで知られる「ブリティッシュヒルズ」では様々なレッスンを受けて語学学習を行うとともに、パブやカフェで英国文化を体験することができました。生徒が書いた感想文の一部を紹介します。

<行程表>

10月5日(木) 東京駅出発→武家屋敷→鶴ヶ城→会津藩校日新館
10月6日(金) 大内宿→ブリティッシュヒルズ到着
→レッスン、テーブルマナー講座
10月7日(土) ブリティッシュヒルズにてレッスン
→ブリティッシュヒルズ出発→八王子駅着

(1組 井上 悠輝)

普通の授業とは違い、最初は英語に慣れてきて、最後は発音や言葉で表現することをしました。特に正しい発音を学べたのがうれしかったです。教科書に載っていることだけを学ぶのではなく、実際に見たり聞いたりして学べたのが今回の研修旅行の良いところだと思います。



(1組 福泉 史埜)

ブリティッシュヒルズでの語学研修では全て英語で聞き取って話さなければいけないし、難しい英語も使って話してくるので大変だったけど、すごくいい経験になったと思います。普段の英語の授業が理解できていても、実際に使うとなると全然頭に出て来なくて難しかったです。英語を実際に使えるようになるために聞き取ったり、話したりできる力をつけたいです。



(2組 樋口 葉奈)

ブリティッシュヒルズでは自分から積極的に話に行くことが大切だと思いました。私は英語があまり得意でなく、自信もありません。なので自分から話に行くことが嫌でした。しかし今回の研修を通じて片言の英語でもネイティブの先生と簡単な会話が出来たことによって、喜びやもっと勉強をして、もっと会話が出来ようになりたい、と思うことができました。



(2組 西脇 美海)

始めは英語で話すテンポについていけず、消極的になってしまいました。しかし日を追うごとに慣れていき、聞き取れなくても単語と単語をつなげて推測したり、ジェスチャーからなんとなく内容がつかめるようになりました。発音がわからないものは筆談してみたり、中2で習ったような簡単な文で会話をしているうちに最初の憂鬱感は消え、むしろそれが楽しく思うことができました。

(3組 長田 伊織)

ブリティッシュヒルズでは、英語に触れ合う時間が多く、ゲーム感覚で英語を学ぶことができた。英語そのものだけでなく、積極的に話すことや聞くこと、できるだけ大きな声で話すことの大切さを学んだ。オーストラリアに行けなかったことは残念だったが、どれも楽しむことが出来たのでとても良い思い出になった。今後、ブリティッシュヒルズで学んだことを活かしたら良いと思う。



(3組 深澤 優空)

ブリティッシュヒルズでの語学研修を通じて、私は英語を学ぶことは大切だと感じました。ブリティッシュヒルズのお店で店員さんと話している時、頭の中にすぐに英語で伝えたい文章が出てこなかったのが悔しかったです。なのでこれからは文法を完璧に覚えて、O.C.の授業などで積極的に話すことも大切だと思いました。たくさんの外国の方と話して英語をもっと話せるようになりたいです。



中学2年修学旅行

広島～奈良～京都 11月24日(金)～27日(月)



中学2年生は11月24日(金)から27日(月)の日程で、広島、奈良、京都を訪問しました。修学旅行は、前期探究ゼミの総まとめと、本校の学園モットーである「平和を心につちかおう」の実践としての平和学習を目的とする行事です。前期探究ゼミでは、各地域について分野ごとにグループに分かれて調査、研究を行ってきました。探究ゼミで得た知識、研究成果に実地での体感、感動を裏付けることができたこととすれば生徒たちにとってよい経験になったのではないかと思います。平和学習についても1学期から原爆の子の像の元になった佐々木禎子さんについての絵本を英語訳したり、被爆者の方を学校にお招きしたり、千羽鶴を折ったりといった活動に取り組んできました。現地での千羽鶴奉納式は厳粛な雰囲気で行うことができ、生徒たちもそれぞれに平和への思いを強く持つことができたのではないかと思います。今回の修学旅行は感染症警戒下での行事ということもあり、黙食の徹底やマスクの着用など生徒たちには窮屈な思いもさせてしまいましたが、そうした中でも生徒たちはよく学び、よく楽しむことができました。修学旅行で学んだ集団生活での心得を今後の学校生活にも活かしてもらえればと思います。

中学2学年主任 谷口 明博



高校2年修学旅行

沖縄 11月24日(金)～11月27日(月)

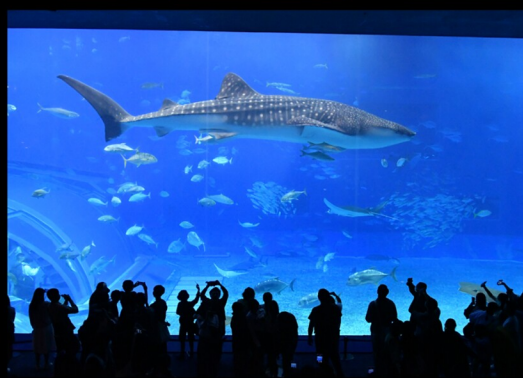
3年前、私は高校2年の担任でした。本来であれば修学旅行に行く学年です。3年前、皆さんは中学2年生でしたね。この年は緊急事態宣言が出され、4月、5月は学校に登校できない年でした。八王子高校始まって以来初めて、修学旅行が中止となりました。生徒たちは淡々と受け止めていた印象がありますが、実際はとても残念だったと思います。

今回、11月24日から27日の修学旅行で皆さんと一緒に沖縄の地に降り立てたこと、大変嬉しく思っています。事前学習で色々な角度から沖縄について調べ新聞を作り、それを元にスライドを作り発表しましたね。どれも力作で感心しました。また日本で唯一の地上戦の地ということで、沖縄でおこった戦争のこと、そして平和の大切さを学びました。1日目・2日目の行程で訪れた平和記念資料館やひめゆりの塔などでは、それまで調べていたことを目の前にし、真剣な眼差しで資料に見入る姿が印象的でした。また、おきなわ世界塾では、スタッフの方々と充実した意見交換をしていましたね。3日目は午前中は美ら海水族館、午後にはお楽しみの民泊です。本当に心からの笑顔で民家さんとの交流を楽しんでいる姿を見て、つくづく修学旅行の引率ができて良かったと感じました。最終日の離村式では、民家さんと濃密な時間を過ごしたんだなと思える空気でしたね。

平和について、文化について、肌で感じた充実した修学旅行だったと思います。今後、平和で豊かな生活を送るために必要なものは何か。今回の修学旅行をきっかけに、考えてみて下さい。

高校2学年主任 新井 武広





<ある先生の横顔>

Vol.63

保健体育科

櫻井 怜央 先生



● どうして先生という職業を目指したのですか？

これというのは無いんですけど、結構小さな時からぼんやりと先生になりたいというのがあって。母が小学校の教員だったので、なんとなく教員というのが頭にありました。成長するにしたがって、色んな良い先生に出会ったというのが、そのまま教員になりたいという思いにつながったという感じです。

● 櫻井先生は小学校の先生という感じではなかったんですね？

そうですね。部活をやったかったんで。

● 部活は柔道ですね。柔道はいつから？

5歳くらい…小学校にあがる前からです。

● 何がきっかけで始めたんですか？

それもぼんやりなんですけど(笑)柔道は親もやっていなかったんですけど、歳とか時期とかを考えると、多分アテネオリンピックを観たからですかね。

● なるほど！昨年本校を卒業した弟さんも柔道なんですよ？その弟さんとはいくつ離れているんですか？

5つです。真ん中にもう一人います。彼は八王子高校ではないし、サッカー部でした。男3兄弟です。

● 長男は柔道、次男はサッカー、三男は柔道ということですね。仲は良いんですか？

三男とは仲が良いですが、次男とはあんまり…。

● やっぱりスポーツが違うので隔たりがあるんですね(笑)先生はどうして体育の先生になろうと思ったんですか？

本当は、行きたい大学の教育学部の社会科を狙っていたんです。でもセンターの結果が出たときにボーダーぴったりくらいで。社会科だと本校に就職できたか分からないので、結果的に体育で良かったです。

● 一般入試で進学したんですね。櫻井先生は本校の卒業生ですが、本校ではどのコースだったんですか？

選抜クラスです。クラスで自分だけごりん(坊主頭)でした。

● ですね(笑)どちらの大学だったんですか？

埼玉大学です。両親が埼玉大で、柔道のすごい先生がいると小さな時から聞いていて、結局柔道も学力もそのレベルに成長したんで、じゃあ自分もそこへと思って。

● 柔道に励みながら国立大に合格するとは、文武両道ですごいですね！本校に来たのはどのような経緯で？

川野先生が退職により柔道部の顧問がいなくなっちゃうということで、先輩の誰かが後任になるだろうと思って自分は公立校にしながら本校をサポートするつもりでしたが、誰もいなかったの、じゃあ自分が直接指導しますということに。最終的には一番良い結果になりました。

● 巡り巡って良い形に落ち着いたということですね！では体育という教科の魅力を教えてください。

好き嫌いに依存しちゃうところはあると思うんですけど、でも出来ないなりの楽しさがちゃんと見つけれられるという所があるのかなって。授業前の自分よりも成長できるし、嫌いな子でも輝ける場所が見つけれられる教科だと思います。人との競い合いがある一方で、自分との競い合いという面もあるので、記録が少しでも伸びれば苦手なりに楽しめるんじゃないかなと思います。

● 確かに～！先生は、休日は何をされていますか？

休日は寝たら終わってます。丸一日休みというのがほとんどなくて。部活が無くても仕事があるし、仕事が無くても部活があるので。研究日も部活です。

● お休みの日に先生が一人でトレーニングルームに籠もっているという噂が(笑)何のために鍛えてるんですか？

実際に組むので、階級が大きな生徒もいるけど、やっぱり負けたくないの(笑)

● 笑！すごい向上心ですね。他に何か趣味はありますか？

映画と読書は結構しています。コロナの時はまだ学生だったんですけど、やることもなくなっちゃって、映画を観るようにしました。

● お好きな映画は？

『ジョジョ・ラビット』っていうコメディ映画です。評価が高いんです。

● 意外！アクションが好きそうだと勝手に思っていました(笑)本は何を読みますか？

家では『宮本武蔵』を読んでいます。電子図書で読んでいるんですけど、朝読書で読めなくて。朝読書では学生の時に学校で配られた文章読本という本を読んでいます。

● 大人になってやっと読んでいるんですね(笑)今の柔道部はどうですか？

三人しかいないんですけど、みんな良い選手に育っています。一人は関東で3位になって。この前の支部新人大会では五人の団体戦ですが、うちは三人しかいないのに優勝しました。

● 三人で優勝?! カッコいいですね！人数が増えたらますます楽しみですね。今の生徒達は、先生の時代と比べてどうですか？

自分の時の方がやんちゃですかね。なんと表現したら良いか…(笑)今の生徒達は、良く言えば自分のやりたいことをちゃんとやっているかなって。部活を頑張っている子は部活を頑張っているし、勉強を頑張っている子もいるし、自分の頑張りたいところで頑張っているって感じですかね。自分の時の方がもっと周りとわちゃわちゃしてました。

● 先生の中で「わちゃわちゃ」という言葉がしっくりくるんですね(笑)最後に生徒へのメッセージをお願いします！

自分もそうだったんですけど、何が自分にとって良いかとか、自分に影響を与えるかとか、それは分からないので、今日の前にあることを全部全力でやってほしいと思います。いらないと思っていることが後で自分を作ったりするし、どうなるか分からないので。とにかく朝読書も全力でやってほしいですね(笑)文武両道の先生らしいお話、どうもありがとうございました！